

人と人が関わるルールや よりよい習慣を身に付けよう

市政モニターの内藤圭子さん(三輪)が、平成22年から3年計画で行っている「だれもが行きたくなる学校づくり」について、片岡正喜学校教育課長にインタビューしました。

問い合わせ 学校教育課(☎08358)

内藤 総社市ではだれもが行きたくなる学校づくりを進めているとお聞きしたのですが、それはどのようなものですか。

片岡 市は「郷土を愛し、夢に向かって共に伸びる子ども」という目指す子ども像を定めています。その前提としてだれもが行きたくなる学校づくりに2年前から取り組んでいます。

内藤 どのような取り組みなのでしょう。

片岡 子どもたちに、「思いやり」や「あいさつ」、「感謝」などのよりよい習慣を身に付けてもらいたいと、それらを用ごとのテーマにし、そのテーマにちなんだ活動や道徳の授業を行っています。

内藤 テーマはどのようなように設定されたのですか。

片岡 子どもたちに、「思いやり」や「あいさつ」、「感謝」などのよりよい習慣を身に付けてもらいたいと、それらを用ごとのテーマにし、そのテーマにちなんだ活動や道徳の授業を行っています。

片岡 家庭でも、毎月のテーマに沿ったお話やお手本を示していただければ助かります。

内藤 家庭で足りない部分

を学校でと思うので、学校の役割は大きいと思います。

片岡 平成23年度は昭和小学校と維新小学校、昭和中学校の3校でよりよい習慣を身に付けさせる取り組みを行ってきました。今年4月からは、市内の全小・中学校で本格的に実施します。

内藤 これまでで子どもは変わってきましたか。

片岡 地域の人からはあいさつがよくできるようなったという声を聞いています。

内藤 いい傾向ですね。

▼地域との連携

内藤 地域が協力できることはありますか。

片岡 月ごとのテーマを書いたポスターの掲示に協力していただければあり

片岡 保護者へのアンケート結果や市の目指す子ども像をベースにテーマを決めました。

内藤 テーマの月間が終わっても、それは継続していかねばならないものばかりですね。

片岡 小・中学校時代の9年間繰り返すことで身に付けていくことも考えた

いです。

内藤 たいへんなことだと思いますが、子どもの氣質にに応じて取り組んでほしいと思います。

片岡 今回の子どもは人との関係を作っていくことが苦手になっています。外で遊んで

ることも大切ですから。

片岡 よいところをしっかりと認めるということが子どもの心の成長にもつながります。

内藤 悪いことは目に付くのですが、地域の人は子どもが悪いことをしていても、しきれないかもしれません。

片岡 悪いときにはしかる、よいことがあればほめて認めていただくことが大事です。

内藤 学校と地域が連携することは大事ですね。

片岡 そうですね。地域の宝物である子どもたちを、地域みんなで大切に見守り、育てていただきたいですね。

内藤 この取り組みが実を結ぶよう、お手伝いしたいと思えます。今日はありがとうございました。

片岡 はい。もう一つお願

いしたいのが、子どものよい行動を見かけたとき、学校へ連絡をしてほしいと思います。学校でもほめて認め合う場を増やしていきたいです。

内藤 地域全体でよいことを見つけたいです。しかるばつかりよりは、ほめ

たいです。

片岡 はい。もう一つお願

いしたいのが、子どものよい行動を見かけたとき、学校へ連絡をしてほしいと思います。学校でもほめて認め合う場を増やしていきたいです。

内藤 地域全体でよいことを見つけたいです。しかるばつかりよりは、ほめ

たいです。

片岡 はい。もう一つお願

いしたいのが、子どものよい行動を見かけたとき、学校へ連絡をしてほしいと思います。学校でもほめて認め合う場を増やしていきたいです。

内藤 地域全体でよいことを見つけたいです。しかるばつかりよりは、ほめ

たいです。



「だれもが行きたくなる学校づくり」について、市政モニターの内藤圭子さんが、片岡正喜学校教育課長(写真左)にインタビュー

学校と地域、家庭が連携して、子どもたちをはぐくむことができたらいいですね。

市政モニター 内藤圭子さん



「がんばるぞー」。「やりぬく心」がテーマだった今年1月、昭和小学校の児童は学習発表会の劇を成功させようと心を一つにして取り組んだ